

ヨーロッパ経営史学会・経営史学会共催国際会議(パリ大会)への  
若手研究者の派遣支援募集について

2012年3月21日

経営史学会会長・阿部武司

国際交流員会委員長・川邊信雄

富士コンファランス委員会委員長・宮島英昭

かねて案内の通り、本学会では、2012年8月30日から9月1日までフランスのパリにおいて開催される、ヨーロッパ経営史学会(European Business History Association. EBHA)と本学会との共催によるヨーロッパ経営史学会年次大会(以下、パリ大会と略記)について、若手研究者の報告を奨励するため、参加支援プログラムを実施致します。すでに同大会の組織委員会による審査が終了し、報告を応募した会員に対して採択の可否が通知されていると存じます。つきましては、同大会組織委員会によって報告の採択された若手会員の方々に対して、本派遣支援プログラムによる支援を、以下の要領で募集致します。応募資格は、「大学院博士課程在学者、及び、大学院単位取得者で専任職をもたない者」です。支援希望の会員は、その旨、報告タイトルを明記のうえ経営史学会事務局宛、申請下さい。国際会議派遣委員会にて派遣支援者を決定いたします。なお、支援の可否、支援金額等の通知は4月末を予定しております。

**支援申請要領**

1. 宛先：本学会事務局(jimukyoku@bhs-japan.org)宛。「パリ大会若手研究者の派遣支援応募」と明記し、氏名、所属・単位取得大学院、採択されたパリ大会報告のタイトルを記して下さい。
2. 期日：4月6日(金)
3. 資格：2011年末時点で、本学会の会員であり、大学院博士課程在学者、及び大学院単位取得者で専任職をもたない者。具体的には、本学会会費半額の資格に該当する者。
4. 選考：国際交流委員会と富士コンファランス委員会とが共同して組織する国際会議派遣委員会が行う。

以上